

## 第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

## 市町

## 【鴻巣市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回	活発な意見交換にならない	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回 入退院支援ルールの作成と啓発・運用の推進
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布	歯科に関する要望が見えてこない	地域在宅歯科医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和3年度 実績60件	電話と来訪者の相談支援のみ	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 令和4年度実績（5月まで）20件 ACP普及啓発（通いの場での講話）
④ 人材育成	多職種研修 令和3年12月18日 参加者数28名 講義内容「在宅医療と介護の連携について」 講師：埼玉県介護支援専門員協会 代表理事長谷川佳和氏	コロナ禍の開催方法について	令和4年12月実施予定
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	自立支援協議会における協議体として「災害支援プロジェクト」を発足し、まずは協議会管内の各市町村の防災計画等について学んだ。	医療依存度の高い人に対する災害時支援の方法について、現状では具体的は方針等が確立されていない。	事業継続計画について医療依存度の高い人への災害時支援の観点も交えて学んでいく。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」R3.4.19開催		鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」の開催

## 【上尾市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	1) 上尾市医師会、上尾中央総合病院、ケアマネの会、市をメンバーとして医療介護連携会議を毎月1回（第4木曜日）開催。多種職連携を強化するために、医療・介護従事者を対象とした研修等（グループワーク）を開催している。9月7日、専門職を対象とした講演会をオンラインにて開催した。 （2）専門職との連携を強化し、ケアマネジャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」を開催した。オンラインにて12回開催。	（1）介護従事者に比べて、医師や医療従事者の参加が少ないので、周知方法や会場等に工夫が必要。  （2）自立支援型ケア会議の検討結果から地域課題を抽出し、施策形成へとつなげることが課題。	（1）令和5年2月17日に医療・介護従事者を対象とした講演会を開催予定。  （2）令和3年度から各地域包括支援センターで開催。13回開催予定。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	（1）在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：307件 （2）在宅診療マップを作製し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。配布数：3,760枚 （3）高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）を作製し、市民に配布。配布数：244冊	（1）課題として捉えていることはない。 （2）相談・支援の際に活用しており、追加の要望もあるので、課題として捉えていることはない。 （3）在庫不足な状況であり、配布対象者を限定（原則65歳以上の単身高齢者等）している。	（1）在宅医療に関する情報提供や相談・支援を継続 （2）配布数：約4,000枚 （3）令和4年度中に増刷予定。今後、より多くの高齢者に活用してもらえるよう周知に努めていく。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会。令和3年度は4月19日に開催し、情報共有を図った。	関係機関・団体による継続的な情報共有・連携の強化が必要である。	令和4年度も開催予定。

【桶川市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	A：北足立地区（鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町）入退院支援ルール作成のために会議の開催 令和3年9月入退院支援ルール策定研修会 令和3年10月、12月、令和4年2月、3月に入退院支援ルール作成会議の開催。  B：地域包括ケア推進協議会の開催 在宅医療・介護連携推進事業について、情報共有、必要事項の協議等をしている。		A：令和3年度の取組みと同様 入退院支援ルールの完成と周知、運用、運用後の振り返りの実施  B：令和3年度の取組みと同様
② 在宅歯科保健医療体制の充実	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。  B：桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成し、その中に歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布。		A：令和3年度の取組みと同様  B：令和3年度の取組みと同様
③ 必要な情報の提供、相談・支援	A：在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行っている。 相談件数 50件  B：令和3年12月に、ACPの普及・啓発として、市が支援している通いの場1団体へ、北足立群市医師会によるACP講座実施。	A：在宅医療連携センターを知らない市民が多いため、周知に努めていく必要がある。	A：令和3年度の取組みと同様 在宅医療連携センターを周知していく。  B：通いの場へACPの普及講座を行う。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	日常生活用具申請等により医療機器の使用を把握している人、保健所からの情報提供があった人から医療依存度の高い人の把握を行う。 聴覚障害者用防災バンダナを聴覚障害の手帳を取得した人、手話通訳ができる人等、市内在住の希望者へ配布。避難訓練等での防災バンダナの周知。	保健所から市への情報提供に同意が得られない人で、市の福祉に繋がっていない人は把握が難しい。	引き続き、医療依存度の高い人の把握を行う。 また、聴覚障害者用防災バンダナの配布・周知を行う。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。		令和3年度の取組みと同様。

【北本市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	医療・介護関係者の研修会を2回企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	・医療・介護関係者の連携強化を促進するため、研修会等企画していく。	・今年度中での実施に向けて調整中。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携センターの相談件数 延べ50件	・相談窓口の周知を継続し、連携調整、情報提供等による支援を実施していく。	・在宅医療連携センターにおける相談への対応。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	・自立支援協議会こども部会内に医療的ケア児協議の場を設置し、3回開催。災害時個別支援計画書の事例報告。		・医療的ケア児協議の場の開催：全3回開催予定。（医ケア児のご家族に、相談窓口等を分かりやすく伝えるためのガイドブック作成予定。）

【伊奈町】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会		町・医療機関等と定期的な会合を実施 多職種連携研修会
② 在宅歯科保健医療体制の充実	特になし（民間医療機関が実施）	在宅診療可能な医療機関との連携	特になし（民間医療機関が実施）
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有		在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有
④ 人材育成	研修・講習の参加		研修・講習の参加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	避難行動要支援者システムの運用・整備	対象者把握及び情報提供同意者が少ないこと	前年度に引き続き、システムの保守運用を行い、より情報提供同意者が増加するよう策を講じる。

⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備 等	町内の高齢者等を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアの運用	たい員募集の周知方法	前年度に引き続き、たい員数の更なる増加を図るため、事業の周知を徹底する。入退院支援ルール(R4.5策定)に則り、連携体制を図る。ACPの普及・啓発に努める。
----------------------------------------	-----------------------------------	------------	--------------------------------------------------------------------------------

## 医師会

### 【北足立郡市医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	「入退院支援ルール」作成した。学術講演会として多職種による「ACP普及啓発事業」を実施した。	多職種の連携強化のための会議の不足。	「入退院支援ルール」、「ACP」について学術講演会を多職種向けに実施。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	「入退院支援ルール」作成した。	地域の全ての多職種に周知されていない。	「入退院支援ルール」完成後、実際の運用により改良していく方法。
④ 人材育成	「ACP人材育成」として医師会より3名。	今後、講演会等を通じて周知していく方向。	「ACP人材育成」に3名追加し6名に増員。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	活動していません。		災害担当と今後協議。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備 等	活動していません。		身寄りのない高齢者を多職種で掘り起こし、介護担当と検討。

### 【上尾市医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・在宅緩和ケア充実支援事業研修会を開催 地域の緩和ケアの知見を有する病院と地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制構築のためのWEB研修会を開催する。 対象者：市内の病院、医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、薬剤師、行政 ・上尾市、上尾中央総合病院、ケアマネの会、上尾市医師会をメンバーとした医療介護連携会議に参加。月1回開催		・在宅緩和ケア充実支援事業研修会を開催 地域の緩和ケアの知見を有する病院と地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制構築のための研修会を開催予定。 対象者：市内の病院、医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、薬剤師、行政 ・医療介護従事者を対象とした講演会を開催予定。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：307件。 ・医療機関、地域包括支援センター、公共施設等を記載した在宅診療マップ更新 ・ACP普及啓発講師人材バンクに登録。登録医3名。ACP普及啓発座談会へ登録医を派遣。年2回派遣。	コロナウイルス感染拡大の影響により、ACP普及啓発座談会が一か所中止となった。地域住民を対象とした座談会であり、WEB開催への変更は難しい。	・在宅医療連携拠点の相談・支援 ・ACP普及啓発講師人材バンクに登録。ACP普及啓発座談会へ登録医を派遣。登録医3名予定。年3回派遣予定。
④ 人材育成	・人生の最終段階における医療・ケア等に関する研修会を開催。 対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャーなどの介護従事者等を対象	コロナウイルス感染拡大の影響により、WEB開催としたが、会場開催が望ましい。	・人生の最終段階における医療・ケア等に関する研修会を開催予定。 対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャーなどの介護従事者等を対象。

## 歯科医師会

### 【北足立郡市歯科医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加		在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加
② 在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 北足立窓口 11件 上尾窓口 23件	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 16件 上尾窓口 20件	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備 等	埼玉主催 高齢者歯科保健推進研修会 令和3年12月16日 1名参加	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	埼玉主催 高齢者歯科保健推進研修会 受講予定

**薬剤師会**

**【鴻巣薬剤師会】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	令和3年度3年度鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加		令和4年度鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)に薬剤師アドバイザー派遣 5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザー派遣	派遣アドバイザーの自己研鑽が必要	鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)に薬剤師アドバイザー派遣 5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーを派遣

**【上尾伊奈地域薬剤師会】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・定例地域ケア会議出席 ・医療介護福祉をつなぐ会の企画協力と参加 10/21 50名 県活センター	・他職種との業務内容の相互理解 ・顔の見える関係連携強化	・伊奈町在宅医療介護推進協議会(委員として1名参加) ・定例地域ケア会議出席 ・医療介護福祉をつなぐ会の企画協力と参加
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・かかりつけ薬剤師薬局で各自が継続実施		・かかりつけ薬剤師薬局で各自が継続実施
④ 人材育成	・薬剤師のための在宅医療講習会(会員有志)	・医療、ケアなどを担う他職種との連携の構築	・薬剤師のための在宅医療講習会(会員有志)

**【桶川市薬剤師会】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	コロナ禍のため地域包括ケア会議が3~4回程度でした。		コロナが落ち着きましたら地域包括ケア会議が2か月に1回開催されると思います。桶川市の5つの地域包括ケア会議の参加となります。薬剤師の横の連携を取り更なるアドバイスの向上に努めたいと思います。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	各薬局で随時相談に応じていた。		各薬局随時相談

**【北本市薬剤師会】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	各医療機関と連携強化を図りたかったが未実施	各薬局への情報伝達	各関係機関の依頼があれば各種会議に参加

**消防本部**

**【埼玉県央広域消防本部】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援		医療支援情報等について関係市との共有	関係市との情報共有等の連携強化

**【上尾市域消防本部】**

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	取組なし		既往に精神疾患のある傷病者、生活保護受給者、頻回要請者等への対応について、情報共有を行うなど、関係部局との連携強化を図る。

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・委員の構成を見直し、委員の改選を行った ・難病対策地域協議会の実施（書面会議） 1回 協議会委員19名	地域で安心して生活できるよう関係機関との連携により支援体制の充実を図る必要がある。	①難病対策地域協議会を開催予定 ②医療ケア的児協議の場への参加
② 在宅歯科保健医療体制の充実	保健所歯科保健推進会議 10月28日開催 26名参加	管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるための働きかけが必要。	保健所歯科保健推進会議 開催予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	①個別相談（通年） ・難病 訪問：8人 面接：40人 電話：115人 ・小慢 訪問：8人 面接：51人 電話：207人 ②（難病）療養生活のおたずねの実施 （小慢）療養状況を伺うアンケートの実施	コロナ禍のため、訪問等保健所からの直接支援が困難。また、在宅で受けられるサービスが縮小あるいは感染予防のため利用を控えるケースがある。 状況把握や効果的な情報提供方法等について、検討の継続が必要。	
④ 人材育成	（精神保健） 精神障害者の地域包括ケア研修会 「高齢期のうつ 高齢者の自殺予防」 1回 15人（市町担当者・地域包括支援センター） （難病対策） 在宅難病患者支援者研修会「神経難病患者へのコミュニケーション支援について」	（精神保健） 保健、福祉の関係者が精神疾患の知識と対応方法について学ぶ機会を設け、地域ケアの実践につなげる。 （難病対策） 在宅難病患者を支えるため訪問看護ステーションスタッフやケアマネージャー等支援者への研修機会の提供とネットワークが必要である。	（精神保健） 精神障害者の地域包括ケア研修会 1回 （難病対策） 在宅難病患者を支える支援者育成のため神経難病患者支援に関する研修を開催予定
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 人工呼吸器装着59人 酸素療法利用者46人 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末、9月末）更新 人工呼吸器装着48人 酸素療法利用者44人 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供（年2回）	マンパワーの課題があり直接支援が難しい。管内市町の保健主管課経由で情報提供をするとともに、リストの活用状況や個別支援計画策定状況の把握が必要	難病・小慢受給者のうち人工呼吸器装着者と酸素療法利用者を把握し、 ①災害時医療機器使用者リスト作成 年2回（3月末、9月末）更新 ②在宅医療機器使用者のマッピング年2回（3月末 9月末）更新 ③管内市町長からの求めに応じた情報提供 ④医療的ケア児協議の場への参加
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	新型コロナウイルス感染症の拡大により連絡会は開催されなかった。	医療と福祉の連携強化	身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供検討会参加